

中国雲南省大自然とともに生きる少数民族の子供たち 子供たちの小さな夢と希望を形に

教育は人生の大事な第一ステップ。

いつの時代でも、世界中どこの国に行っても、子供たちの夢と希望を実現するためには初等教育が欠かせません。

中国の西南部、ベトナム・ミャンマー・ラオスと国境を接する雲南省の山奥には、初等教育を満足に受けることができない少数民族の子供たちがたくさんいます。

私たちは、教育を受けられない少数民族の子供たちが、学ぶことと将来への希望に胸をふくらませ、夢を形にするための活動を、一步一步進めています。

雲南省というところは、土地の9割以上が山地という大自然に囲まれた地域です。その山奥には、25種類の少数民族たちがいにしえから脈々と息づく伝統の中、静かに生活を営んでいます。21世紀になっても2000年前から変わらない生活をしている子供たちの生活風景がそこには存在します。

活動の中でふと気づいてみると、私にとって「写真」は、雲南省で生活を営み、貧しいながらも懸命に生きる少数民族の子供たちの成長や、過酷な環境、少数民族の歴史そのものを記録する、とても重要なツールになっていました。

貧しい中でも大きな活力に満ち、逞しく輝く子供たちの笑顔の記録を、ぜひゆっくりとご覧になってください。この子供たちの素朴な笑顔は、私たちが忘れかけている何か大切な物を、そーっと教えてくれるかもしれません。

初鹿野 恵蘭

〈 略 歴 〉

初鹿野恵蘭 HAJIKANO/KEIRAN
特定非営利活動法人 日本・雲南聯誼協会 理事長

中国雲南省昆明市生まれ
1988年 留学のため来日
1996年 雲南省麗江大地震が発生
貧困少数民族地域への教育支援活動を開始
2000年 日本・雲南聯誼協会設立
2008年 現在、事務局を東京と雲南省の省都・昆明市に置く

NPO法人 日本・雲南聯誼協会は、中国・雲南省に住む25の少数民族にそれぞれ2校ずつ小学校を建設することを目標に「50の小学校プロジェクト」を進めており、現在は17校目の小学校をチベット族の住む徳欽の地に建設中。幼い頃より写真撮影が好きで、現在も現地視察の際には必ずカメラを手放さない。

協会は、教育支援活動を主としながらも、雲南省内の大学や雲南省政府関係、昆明市政府関係が来日する際の窓口になっている。



雲南省怒江リス族自治州福貢県
リス族のおばあちゃんと孫の女の子にレンズを向けて